

※4 関係人口

地域に住んでいる「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる地域外の人々をさす言葉です。

※5 SDGs【えすでいーじーず】

「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標。2030年を期限として掲げた17の目標で構成されています。



①本市の人口ビジョンの実現に向け、SDGs^{※5}の視点を取り入れ、地域資源や民間活力、関係人口^{※4}を活かし、重点的、戦略的に人口減少対策に特化した施策を展開する。

②第2期三木市創生計画は、2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの5年計画とし、社会増減の均衡と同時に人口の自然増を促す施策を実施する。

● **基本方針**
誇りを持って暮らせるまち三木

計画の目標と基本方針



● **目標**
誇りを持って暮らせるまち三木

● **基本方針**
誇りをもって暮らせるまち三木

施策の主なターゲット

人口減少対策に向け、施策のターゲットを明確化し、それに基づいた施策、事業を複合的に推進します。

総合戦略の5つの柱

本計画では、次の5つの政策の柱を設定し、総合戦略を実行することにより、人口ビジョンの実現をめざします。

- 1 安心して働く環境を創る**
 - ゴルフを核としたまちの活性化
 - 既存産業振興
 - 新規企業誘致
 - 起業支援および事業承継
- 2 未来へ続く希望を創る**
 - 未婚・晩婚化対策
 - 子育て支援
 - 移住支援
 - 情報発信
- 3 協働のまちを創る**
 - 「生涯活躍のまち」構想
 - 健康寿命
- 4 持続可能なまちを創る**
 - 都市政策
 - 環境政策
 - 公共交通
 - 連携および業務改革
 - 関係人口
 - 観光
- 5 多様性を認め合う社会を創る**
 - 外国人住民との共生社会
 - 誰もが住みやすいまちづくり

総合的な重要目標

第2期創生計画では、第1期創生計画に引き続き、次の4つを重要成果指標に定めます。

成果指標	実績値	2025年3月末 数値目標	2030年3月末 数値目標
定住人口 (国勢調査)	77,178人 (2015年時点)	71,900人	67,500人
若年世代(20・30歳代) の社会増減率	▲1.5% (2014年時点)	▲1.0%	±0
若年世代(20・30歳代) の未婚率	20代 男84.1% 女78.0%	20代 男81.0% 女73.0%	20代 男80.0% 女70.0%
	30代 男43.3% 女32.4% (2014年時点)	30代 男37.5% 女27.5%	30代 男35.0% 女25.0%
合計特殊出生率	1.14(2010年時点)	1.58	1.67

第2期三木市創生計画 を策定しました。

将来推計25%増の人口維持をめざします (2060年時点で5万人)

「第2期三木市創生計画」の全文は、市ホームページからご覧いただけます。



問(市)縁結び課 地方創生係

三木市人口(兵庫県推計値)と
社人研推計との比較

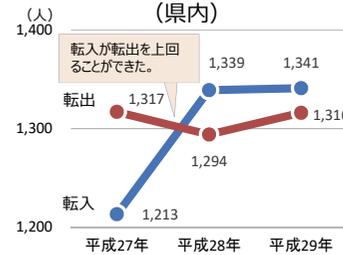
		2020年人口
三木市人口 ^{※1}		74,959人
社人研 推計 ^{※2}	平成27年推計	74,424人
	平成30年推計	73,241人

※1 兵庫県推計人口(2020年3月1日時点)
※2 国立社会保障・人口問題研究所「人口推計」

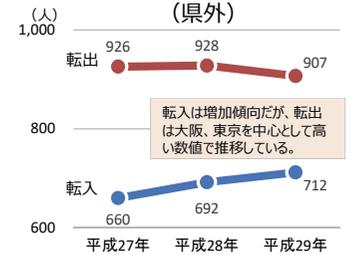
三木市では、平成27年度に前総合計画に代わる市の最上位計画として、令和元年までの5年間で計画期間とした「三木市創生計画人口ビジョン・総合戦略」を策定。若者や子育て世帯の働く場、子育てしやすい環境などを整備することで、結婚や出産を促進し、人口減少のカーブを緩やかにしつつ、世代間バランスを重視したまちづくりを推進してきました。

その結果、転入者数が県内、県外からともに増加し、国立社会保障・人口問題研究所が平成27年、30年に公表した、人口推計の数値を上回る事ができました。

本市における社会増減^{※3}の推移



※3 社会増減とは、転入数から転出数を引いたもの



(出典) 三木市統計書

令和2年4月からの「第2期三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」においては、同時施行された「三木市総合計画」との関係から、人口減少対策に特化した個別計画として位置づけを見直すとともに、第1期の政策に新たな視点を加えながら、今後5か年の目標や施策の方向性を定めています。

新たな計画では、第1期の検証結果を受け、引き続き働く環境整備や子育て支援、教育、移住支援を力強く推進します。

さらに、健康寿命の延伸や関係人口^{※4}を増やす取組、誰もが住みやすいまちづくりなどを新たに推進することで、本市の総合力を高め、人口減少に歯止めをかけたついで、いつまでも暮らしやすい社会の構築を推進します。

このことにより、第1期三木市創生計画と同様に、兵庫県地域創生戦略の目標と同水準である将来推計から25%増の人口維持(2060年時点で人口5万人)をめざします。